

教員名	西野寿章	所属学科	観光政策学科
<p><b>【ゼミでは何を学ぶのか】</b></p> <p>西野ゼミナールでは、過疎化、全国に先行して高齢化に苦悩している山村地域を対象として過疎化以前の村の姿や生活、過疎化のメカニズム、過疎化に抵抗する地域の取り組みなどを多面的に分析しつつ、山村振興の政策的原理を研究している。なぜ過疎問題が発生するのか、地域に生きる人々の苦悩を学びつつ考える。</p>			
<p><b>【どのように学ぶのか】</b></p> <p>西野ゼミナールの3年生の演習授業は、次のように進められる。</p> <p><b>【前期】</b></p> <p>1) 過疎地域、山村地域に関する図書、論文の輪読。  2) 毎年、5月には決定される調査対象地に関する情報収集と分析。  3) アンケートの設計</p> <p><b>【夏休み】</b> 3泊4日の現地調査  [過去5年の調査地]  2014年度:群馬県神流町, 2013年度:群馬県上野村, 2012年度:群馬県下仁田町,  2011年度:群馬県高山村, 2010年度:群馬県片品村, 2009年度群馬県川場村</p> <p><b>【後期】</b></p> <p>1) アンケート集計。  2) 分担にもとづいて、調査研究報告書原稿の作成。  3) 中間報告会(12月)、研究成果発表会(3月)。  4) 3月中旬 調査研究報告書の刊行。</p> <p>西野ゼミナールの調査研究報告書は、数冊を合本して、『過疎山村の研究』Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、『非合併山村の研究』として、高崎経済大学図書館に所蔵されている。</p>			
<p><b>【学んだことはどのように生かせるのか】</b></p> <p>西野ゼミナールの目標は「一つのことをみんなで成し遂げる」ことにある。ゼミナール生のひとり一人が任された担当部分の調査研究を着実に進めないと、最終的な報告書をまとめることはできない。ひとり一人が責任感を持ち、互いに助け合い、そして、報告書完成による達成感を味わってほしい。こうした経験は、社会に出た時に必ず役立つものと確信している。</p>			
<p><b>【おすすめの入門書・基本テキスト】</b></p> <p>・神野直彦(2015)『「人間国家」への改革』, NHKBOOKS, 1,300円。  ・金子 勝(2015)『資本主義の克服「共有論」で社会を変える』, 集英社新書, 720円。</p>			
<p><b>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</b></p> <p>大学で充実した研究生活を送るためには、「問題意識」をしっかりとって、解くべき問題を解くために能動的に学習することが必要です。地域に発生する様々な問題の謎を解くことに挑戦してください。</p>			